

しせいがい

Shiseikai

新春号

vol.68
2014.1

Contents

- 2014 年新しい年によせて ● 2013 イチハナリ秋
- 第 21 回陽光館敬老会
- 「ノロウイルス感染対策研修会」を開催
- 平和病院における院内感染防止対策の取り組み
- 第 36 回家族教室開催

ホームページアドレス <http://www5.ocn.ne.jp/~heiwahsp/>

二〇一四年 新しい年によせて

医療法人社団志誠会 理事長 小渡 敬



平成二十六年の新春を迎えるにあたり
皆様に謹んでお慶びを申し上げます。

昨年末で安倍政権が発足し一年が経過しました。安倍総理の経済政策アベノミクスが奏功し、円安が加速し日経平均は一万六千円台となり、経済は回復基調にあります。しかしながら、春には消費税が3%増税されることが予定されており、まだまだ予断を許さない状況にあります。経済が進展しデフレから脱却することができるとを期待しているところです。また昨年はねじれ国会が解消し、安倍総理を中心とした強い自民党が復権し、色々な法案が成立しました。しかし特定秘密保護法案については、国論を二分しており、議論が不充分であったということは否めないように思われます。

沖縄県においては、普天間基地を移設する為の知事の重大な決断がなされました。いわゆる辺野古沿岸埋め立てに関する知事の承認であります。知事の4項目に渡る要求に対して、安倍政権の誠実な対応に知事は「驚くべき立派な内容を提示していただいた」と述べ、承認に至りました。普天間基地の早期の返還に加え、これらの約束が着実に実行されることを期待します。

医療界では、今年春には診療報酬の改定が行われます。さらに消費税がUPされますが、医療費は非課税で国民の負担はありませんが、医療機関では「控除対象外消費税」を負担している為、この問題がまだ解消されていません。さらに医療に関するTPPの問題も気になるところです。

平和病院はこれからも精神医療・福祉、高齢者の医療・介護等を昨年以上に質を高め、患者や利用者に喜んでもらえるようにしたいと考えております。さらに医療や介護を通して地域に貢献できるように努力したいと考えております。今年も変わらぬご理解・ご協力をお願い申し上げます。

新年が皆様にとりまして、希望に満ちた明るい年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。

就労訓練工場しせいかい 春夏秋冬チャレンジ 2013 イチハナリ 秋

うるま市の地域活性化事業で、「イチハナリ・アートプロジェクト～PART 2～」が昨年11月に伊計島で開催されました。夏も行われたこのイベントですが、今回は絵本作家の儀間比呂志さんの原画展示ということで、多くの子供連れ客が押し寄せました。



ガーデンクレス（注：就労訓練工場しせいかい商品を販売する喫茶店）も、夏に続いてこのイベントに出店。うるま市特産品の店うるま～と並び、会場に来た皆さんが楽しめる“イチハナリ・カフェ”にて、スムージーやスープなどを提供しました。



このイベントにガーデンクレスが選ばれたのには、二つの理由があります。一つは、地域に根差したお店で、自分たちの手作りのものを地域に向けて発信していること。もう一つは、商品の質が認められたこと。そこで今回、うるま市の地域活性化に一役買えるならと、参加させて頂くことになりました。外に出るせっかくの機会ですので、数名の訓練生が代表で参加し、しせいかいの宣伝と躍進を賭けて、接客スキルを磨いてきました。

普段のお店から抜け出て、慣れない場所で一から接客するのは大変なことでした。当然ですが勝手も違いますし、客層の広さや来客数は通常の倍以上です。はち切れそうな緊張の中、ごくわずかな人数の訓練生は、互いに不安をぐっと堪え、店員として一人ひとりが自覚を新たに接客に挑みました。

結果として売上目標にも到達しましたが、それ以上に成果だったのは、訓練生の反応と新たなリピーターの獲得です。夏も来場されたお客様や、同じイベント中に数回来店してくださるお客様が多数出現。緊張が吹っ切れた訓練生からは「反応が見えるのが嬉しい。またやりたい」と意欲的な声が上がりました。店の中で安住せず、外に出てチャレンジする大切さを学びました。



振り返れば平成9年9月16日のオープン以降、マスコミに取り上げられ、当時はフランス料理風なおしゃれなランチでもって、関心を引いていました。何年間も試行錯誤し、最近では、弁当の仕出しにも手を出しましたが、ここにきてやっと、クレスらしさに目覚めたような気がします。店内は毎日、出来たてのパンでにぎやかにお客様を迎え入れつつ、高屋根と静かな灯りで守られたカフェコーナーもあって、ランチやティータイムに訪れるお客様が増えてきました。野菜を置いてほしいと言われれば、新鮮な朝野菜を用意し、ご年配の方が来店しやすいよう手すりをつけ、地元のお客様の声に近いお店でありたいと願うようになりました。

ガーデンクレスは、平成25年12月冬には産業まつりにも出店。大盛況を得ました。次回は今年2月に再び行われる「春イチハナリ・アートプロジェクト（仮）」に出店予定です。就労訓練工場しせいかいの宣伝ショップとしてますます邁進すべく、ガーデンクレスでは日々、訓練生が店頭に立ち、接客スキルを磨いています。

皆さまも近くをお立ち寄りの際は、ぜひ素敵な接客と確かな質の商品を味わってください。

第21回陽光館敬老会



昨年10月12日(土) 陽光館庭園において、「第21回敬老の夕べ」が開催され、長年おきなわの発展に寄与された皆様の長寿をお祝いしました。

式典では、うるま市長を始め社会福祉協議会会長、老人クラブ連合会会長よりお祝いの言葉を頂きました。

式典終了後は、祖堅初子琉舞研究所の皆さんによる舞踊、永山琉太鼓塾の皆さんによる和太鼓が披露され、療養者やご家族は楽しいひと時を過ごしていました。



当館のアイディア・エコクッションを展示紹介

12月20日(金)に北谷町ニライセンターで沖縄県介護保険広域連合主催の「介護相談員・介護実務者研修会」が行われました。その研修会で、陽光館からの展示物として、不要になったマットレスを再利用したクッションを紹介しました。マットレスは、材質・カバーの通気性がよく入所者個人の体型や体勢に合わせてオリジナルを作成しています。



素敵な歌声をプレゼント ～与勝バプテスト教会：聖歌隊～



12月24日(火)のクリスマスイブに、陽光館へ与勝バプテスト教会から聖歌隊の皆さんが来館し、各生活棟、デイケア利用者の皆さんに、「きよしこの夜」などクリスマスにちなんだ素敵な歌声のプレゼントがありました。「おばあちゃんが入所しているので、歌をプレゼントしたい」というご家族からの優しく温かい贈り物でした。



■「ノロウイルス感染対策研修会」を開催

平成25年11月20日（水）、平和病院、陽光館、社会復帰施設全職員を対象にノロウイルス感染対策研修会を催しました。

研修会は、株式会社リブドゥコーポレーションの湖城孝枝（こしろたかえ）氏を講師にお招きし、ノロウイルスの感染経路と予防対策などの一般的な知識に関する説明とノロウイルスが発生した場合の吐物処理や手洗い、消毒などの感染拡大防止策について、実技を交えた講義をしていただきました。11月から3月の時期、一番怖いのがインフルエンザやノロウイルスといった「感染症」です。しかし、ノロウイルスの発症者が出たとしても、感染拡大防止の対策を職員全員が理解していれば、被害は最小限に食い止めることができます。何はともあれ、うがい手洗いをしっかりと、罹患しないよう未然に防ぐことが一番重要なことです。



平和病院における院内感染防止対策の取り組み

医療従事者は、患者さまに対し常に安全な医療サービスを提供する義務があります。当院でも医療安全管理のために諸々の委員会が設置されています。院内感染防止対策委員会もその1つの取り組みです。

当院の院内感染防止対策委員会は、院内感染の発生を未然に防止するとともに、感染症が発生した場合、迅速、かつ適切に対策を講じることを目的としています。医師を中心に各部署の代表で会を運営しています。会議の中で、感染に対する情報を共有し、対策を講じます。例えば、沖縄県内での流行の兆しがあると、外来や病棟単位で、患者さまに手洗いやうがい、咳エチケットをさらに奨励し、面会者へも、「インフルエンザ様の症状のある方は、面会をご遠慮くださいますように」と協力依頼をしています。また、インフルエンザワクチン接種を奨励し、感染予防に努めています。

毎年職員の知識や技術を深めてもらう為に、全職員を対象に勉強会を実施しています。昨年は外部講師を迎え、「ノロ感染防止対策」をテーマに、感染者が嘔吐した場合の対応について、講義を受けました。実際に嘔吐した現場を想定したデモンストレーションは実践に役立つ充実した内容でした。院内感染防止は、特に医療従事者個々の感染リスクに対する意識が重要です。今後も定期的にデモンストレーションを実施し、感染拡大防止の技術を高めていきたいと思ひます。

院内感染防止対策委員会は今後も患者さまへ安心、安全の医療が提供できるよう努めてまいります。

院内感染防止対策委員
国吉 薫



第36回 家族教室開催



12月7日、「病気についての理解を深める ―病棟・デイケアでの心理教育を通して―」と題して第36回家族教室が開催され、青山貴博先生（医師）、山城勝貴課長（精神保健福祉士）による講話が行われました。

青山先生からは、病棟のリハビリとして作業療法についての報告がありました。統合失調症は根本原因がはっきりしないため、陽性症状には薬物療法、意欲低下などの陰性症状にはリハビリ治療が必要となり、当院では作業療法に力を入れて活動を行っています。作業療法は支援者からの指示的な関わりではなく、患者さん自身に考えてもらい、答えを出してもらう方法で行っているため、周囲が結果を焦って求めない事が必要だとのお話がありました。

デイ・ナイトケア山城課長からは、意欲や生活の質の向上を目指し、小グループで行っている社会教育セミナーについての報告がありました。その中で服薬の必要性や症状悪化のサインを確認し、苦しい時に相談できる関係作りが大切であることを話し合っているとのお話がありました。また「自立」をテーマに話し合い、一足飛びに就労を目標にするのではなく、病状の安定や生活リズム改善など、スモールステップで小さな目標を積み重ねて行く事が大事であるとのお話もありました。

普段どのように接してよいか悩んでいるご家族にとっても、ヒントになるお話がたくさんあったのではないかと思います。今回は13家族19名の参加があり、入院して間もない患者さんのご家族へ、長く家族会へ加入されているご家族からアドバイスされている場面もありました。

家族会は情報提供、家族同士の分かち合いの場を目的に年に2回開催しています。まだ参加された事のない方、最近足が遠のいている方も、ぜひ気軽にご参加下さい。



当院デイケアの取り組み

デイケアでは現在、統合失調症の方を対象に心理社会教育セミナーと題して毎週金曜日に6～7名の小グループ活動を展開しています。

セミナーの目的

- ①利用者の皆さんが安定した生活を続けられるように、病気やお薬、自身の病状についての理解を深め、主治医やスタッフへ相談上手になること。
- ②デイケアへ通う目的や自身のリハビリの目標を明確にすること。
- ③自立とは何か、自立生活で大切なことは何かを考える機会とすること。グループの仲間と悩みを分かち合い、共に協力、意見交換をしながら悩みが解決できるように考えること。
- ④充実した生活をおくるための工夫を考えること。

セミナーの内容

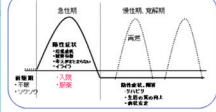
心理社会教育セミナープログラム

- 第1回 オリエンテーション（目的・基の考え方）
- 第2回 通院の目的～デイケアに来て良かったこと
- 第3回 病気と薬に関する基礎知識
- 第4回 薬が効かなくなった時のサインと対応
- 第5回 自立とは？
- 第6回 充実した生活を送るには？（「何でやりたい」と思う生活は？）
- 第7回 まとめ



第3回 病気と薬に関する基礎知識

統合失調症の病状についての講話を行います。



薬を用いて症状の軽減や悪化しないための効果、お薬の副作用等について説明させていただきます。

心理社会教育セミナーと聞く難しい印象を受けますが、各テーマに沿って自由に意見交換をします。

例えば、病気の状態が悪くなった時の対処の仕方やお薬を飲み忘れないための工夫などを自由に話し合ってもらったり、自身の体験などを話すことで共感の場となり、お互いのことを理解することで苦しい時に相談できる仲間作りを目指します。

参加者の感想

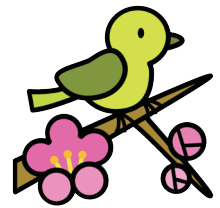
Aさん：自分と同じような症状で苦しんでいた課題も共通している部分が多く、気持ちが楽になった。自分だけではないという気持ちになれた。

Bさん：病気の事について語るのは苦しくなかった。逆にいつも一緒に活動している仲間と病気のことについて語り合うことでみんながどんな事に悩んで、困っているのか分かった。良かったと思う。

このように心理社会教育セミナーを通して正しい病気の知識やお薬の必要性を再認識し安定した生活を目指すだけでなく、自身の体験を語り、他の利用者の体験談を聞く事で、「一人じゃないんだ」「話しても大丈夫」という共感や安心感から、デイケアが利用者にとって安心して過ごせる居場所として活用して頂きたいと思います。

この冬の

ありんくりん



病診連携を考える会

10月19日（土）、日頃入院、通院のご紹介をいただき連携を取っている心療内科クリニックの医師始め職員をお招きし病診連携を考える会を開催しました。

病診連携を考える会では入院病床を持たないクリニックで対応が難しい・急な入院を要する患者さんをスムーズに入院・通院につなげる体制作りを目指し取り組んでいます。

今回はとくだ心療内科、なおまさクリニック、兼城医院の3医院にご参加いただきました。

始めに、食事をしながら意見交換をした後、クリニックよりご紹介いただいた患者さんの動向報告を行い、その後医師による症例報告のなかで紹介入院した患者さんの治療状況、退院後の動向について話し合い、意見交換を行いました。そのなかで、「急な入院でもすぐに受けてもらい助かっている」

「医療・支援ニーズの高い患者さんをクリニックでよくサポートされている」等活発な意見が聞かれました。

今後もニーズに応じ、安心して患者さんをご紹介していただき、いち早く入院・通院治療につなげられるよう病診連携を継続していきたいと思います。



情報ポケット

～入局しました～



こばやし けい
小林 啓 医師

11月から精神科医として勤務しています、小林です。山下先生と交代で大阪のさわ病院から参りました。まだまだ医師としてのキャリアは浅く、詰めの甘い部分も多々ありますが、ご指導いただければ幸いです。沖縄での生活も少しずつ慣れてきましたがまだまだ驚くことは多く、日々カルチャーショックを受けながら楽しく過ごさせてもらっています。

半年という短い期間であり、あっという間に2ヶ月が過ぎて去っていますが、みなさんに何かしらのインパクトを残せるようしっかりと働いていきますので、どうぞよろしくお願い致します。



あらかき よし み
新垣 淑己 医師

今年11月より平和病院の医局に入りました新垣です。

一般精神科病院で25年、認知症専門病棟で5年間働いてきました。今回、再び一般精神科の平和病院で仕事することになりました。

平和病院では今までと違ってかなり幅広い患者層があり戸惑うこともあります、精一杯頑張りますのでこれからもよろしくお願い致します。

陽光館新年会

1月11日、陽光館新年会が開催されました。今年の新年会は、琉舞、民謡、餅つきと内容が盛りだくさん！

三味線サークル島つばきの余興では、琉球民謡とフラダンスのコラボが披露され、入所者も一緒にからだを動かした会場は大盛り上がりでした。

このあと、参加者を代表して3人の施設利用者が餅つきに初挑戦。参加者は、周囲からの「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声に合わせて杵を振るい、楽しそうに餅をついていました。

参加した療養者は、「初めての餅つきは楽しかった。」と話していました。

今年の新年会も大成功に終わり、新年のスタートをみんなで祝うことができました。





精神科・心療内科・内科

平和病院

病床数：212床（内 指定病床17床）

☐ 急性期治療病棟 ☐ 精神療養病棟 ☐ 精神科訪問看護 ☐ 精神科デイケア ☐ 精神科デイ・ナイトケア

受付/午前8:30～11:00 午後1:00～3:00

日・祝祭日は休診（木曜は新患受付行っておりません。）

電話：098-973-2000 住所：うるま市字上江洲665番地



介護老人保健施設

陽光館

入所定員：140床（認知症専門棟40床）

☐ 介護老人保健施設陽光館入所 ☐ デイケアセンター陽光館 ☐ ホームヘルプサービスセンター陽光館
☐ 居宅介護支援事業所陽光館 ☐ 短期入所療養施設陽光館
☐ 認知症グループホームあおば邸 ☐ 高齢者相談センター具志川ひがし

受付/午前8:30～12:00 午後1:00～5:00 木・日・祝祭日は休館

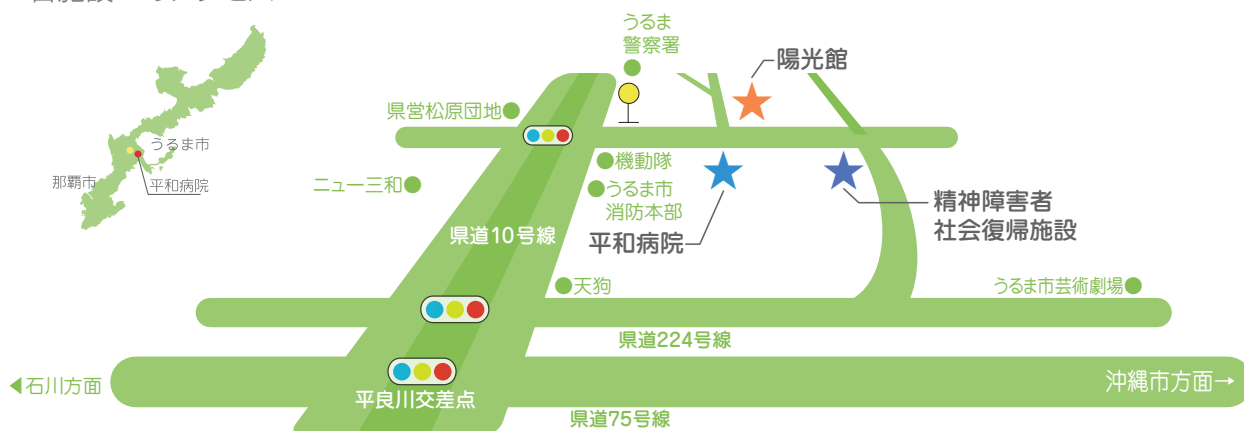
電話：098-974-4000 住所：うるま市字上江洲661番地



精神障害者社会復帰施設

☐ 一葉邸・二葉邸（グループホーム）
☐ 自立訓練事業所しせいがい（宿泊型自立訓練・生活訓練）
☐ 就労訓練工場しせいがい（多機能型）（就労移行支援・就労継続支援B型）

各施設へのアクセス



編集後記

明けましておめでとうございます。

本号では、昨年開催されたうるま市のアートプロジェクトに出店したガーデンクレスについてご紹介しています。私も個人的に興味があり足を運びましたが、カフェコーナーでとても楽しそうに働く訓練生の姿が印象的でした。今年の干支、馬にまつわることわざに「馬には乗ってみよ、人には添うてみよ」という言葉があります。これは馬の良し悪しは乗ってみないと分からない。人柄は付き合ってみないと分からない。何事も挑戦してみないと分からないという意味です。ガーデンクレスが去年の出店でたくさんの収穫を得られたのは、目標を持って挑戦した結果ではないでしょうか。

慣れないことをするのは正直大変ですが、今年は来年へと繋がる挑戦の年にしたいと決意を新たにしました。皆さまにとっても良い年となりますように。

山本久美子